

## 観察記録 (Observation)

## 国内2番目のセイヨウショウロ属の記録

Second record of *Tuber* collected in Japan

佐々木 廣海

Hiromi Sasaki

神奈川県藤沢市

Fujisawa-shi, Kanagawa, Japan

E-mail: sasaki\_kx70@yahoo.co.jp

Article Info: Submitted: 25 December 2020 Published: 31 March 2021

これまで日本国内での最初のセイヨウショウロ属 (*Tuber*) の発見は 1976 年に鳥取県で採集されたアミメシロセイヨウショウロ (=コアマメセイヨウショウロ) *Tuber californicum* Harkn. 1899 とされていた (Trappe, 1976; 吉見, 2008)。その後、1935 年に北海道で採集された標本を基に新種発表されていたムカゴタケ *Mukogomyces hiromichii* S. Imai 1940 がセイヨウショウロ属に移さ

れたため (Trappe, 1979)、現在では *Tuber hiromichii* (S. Imai) Trappe 1979 が日本国内での最初の採集記録となっている。著者は国立科学博物館所蔵のセイヨウショウロ属標本を調査したところ、日本国内で 2 番目となるセイヨウショウロ属標本を確認したので報告する。

この標本 (TNS-F-43397) は、1944 年 10 月 10 日に茨城県

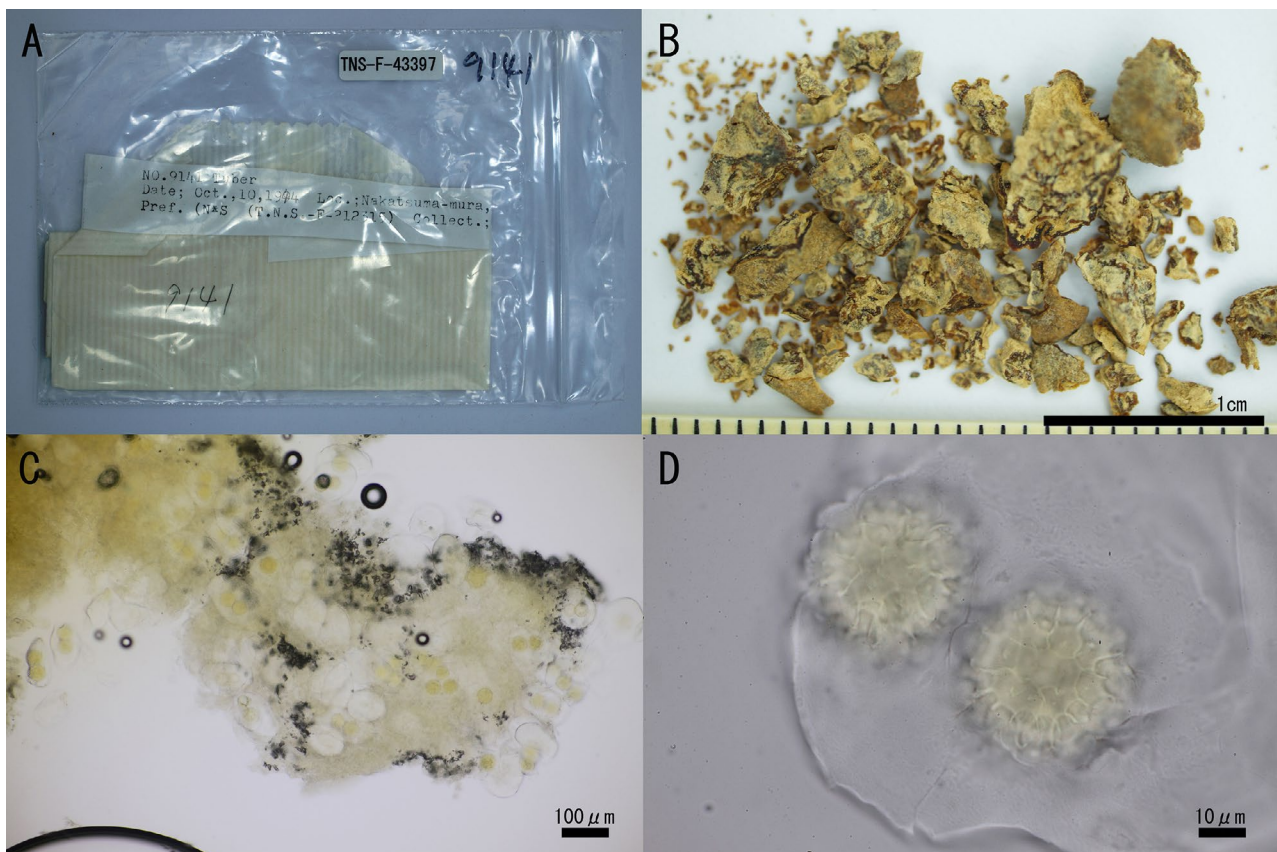


図 1. 国立科学博物館に収蔵されているホンセイヨウショウロ *Tuber japonicum* 標本 (TNS-F-43397)。A: 外観。B: 子実体。C: グレバ。D: 孢子。

で今関六也先生が採集されたもので、*Tuber* と同定されていた。理由は不明であるが子実体は粉々に砕けた状態であった。顕微鏡観察を行ったところ、1 個の子嚢に 1～3 個の胞子があり、胞子は球形で網目模様があり淡黄色で、網目を除いた直径 26.4–40.4  $\mu\text{m}$  平均 30.5  $\mu\text{m}$  (n=27) (1 胞子性：直径 31.9–40.4  $\mu\text{m}$  平均 36.7  $\mu\text{m}$  [n=3]、2 胞子性：直径 26.4–33.2  $\mu\text{m}$ 、平均 29.6  $\mu\text{m}$  [n=16]、3 胞子性：直径 26.6–31.3  $\mu\text{m}$ 、平均 29.1  $\mu\text{m}$  [n=6]) であった (図 1)。これらの顕微鏡的な特徴から、この標本をホンセイヨウシヨウロ *Tuber japonicum* H. Sasaki, A. Kinosh. & Nara 2016 と同定した。

ホンセイヨウシヨウロは同時に新種記載されたウスキセイヨウシヨウロ *Tuber flavidosporum* H. Sasaki, A. Kinosh. & Nara 2016 と共に胞子が黄色を帯びており、他のセイヨウシヨウロ属の種とは際立って異なる特徴を持っている (Kinoshita et al., 2016)。現在のところ、このような黄色の胞子を持つ特徴は日本の 2 種以外には中国で新種記載された *Tuber xanthomonosporum* Qing & Y. Wang (= *Tuber turmericum* L. Fan) があり (Fan et al., 2015 ; Qing et al., 2015)、分子系統解析の結果においてもこの 3 種で 1 つのグループ (Japonicum group) を形成している (Kinoshita et al., 2016)。

この 1944 年採集のホンセイヨウシヨウロ標本は、吉見氏によりトリュフなどの地下生菌が国内にも生息していることが示されたことによる 1980 年代から 1990 年代の「第 1 次トリュフブーム」(ちなみに現在は、多様な地下生菌が国内に生息し比較的容易に見つけることができるという情報が定着してきた「第 2 次トリュフブーム」と著者は考えている) よりもはるか前に採集されており、学名に日本の名前をつけたホンセイヨウシヨウロの命名者の一員としては感慨深いものがある。

## 謝辞

本調査を行うにあたり、国立科学博物館の細矢 剛博士には標本借用に際してお忙しい中でも多大なるご協力をいただいた。ここに深く感謝申し上げる。

## 引用文献

- Fan L., Liu X., Cao J. (2015) *Tuber turmericum* sp. nov., a Chinese truffle species based on morphological and molecular data. *Mycological Progress* 14: 111
- Imai S. (1940) Second note on the Tuberales of Japan. *Proceedings of the Imperial Academy* 16: 153–154.
- Kinoshita A., Sasaki H., Nara K. (2016) Two new truffle species, *Tuber japonicum* and *Tuber flavidosporum* spp. nov. found from Japan. *Mycoscience* 57: 366–373.
- Qing Y., Li S.-H., Liu C.-Y., Li L., Yang M. (2015) *Tuber xanthomonosporum*, a new *Paradoxa*-like species from China. *Mycotaxon* 130: 61–68.
- Trappe J.M. (1976) Notes on Japanese hypogeous Ascomycetes. *Transactions of the Mycological Society of Japan* 17: 209–217.
- Trappe J.M. (1979) The orders, families, and genera of hypogeous Ascomycotina (truffles and their relatives). *Mycotaxon* 9: 297–340.
- 吉見昭一 (2008) アミメシロセイヨウシヨウロ. 吉見昭一親族一同編. 地下生菌図版集 ミクロの世界第一歩 吉見昭一遺稿より, pp. 459–461, 吉見一子, 京都.
- 吉見昭一 (2008) コアミメセイヨウシヨウロ. 吉見昭一親族一同編. 地下生菌図版集 ミクロの世界第一歩 吉見昭一遺稿より, pp. 479–481, 吉見一子, 京都.